

# 1 研究の概要

## ■調査研究委員会活動方針

新型コロナウイルス感染症については長期的な対応が求められることが見込まれるところであるが、こうした中でも持続的に子どもたちの教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していく必要がある。そういう状況の中で、小学校では令和2年度より新学習指導要領が完全実施となった。

県においては「一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり～子どもたちの「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進～」を基本理念とする新たな「福井県教育振興基本計画」が策定された。ふくいの風土に根付いた教育文化のよいところを継承しつつ、子ども自身の個性に気付かせ、それを伸ばしていくような「引き出す教育」や、好奇心や探究心を持って学び自ら進んで「楽しむ教育」を、地域や家庭などとの幅広い連携・協働のもとで推進して行くことが求められている。

福井県小学校長会では、令和2年度活動方針の中で、5つの重点活動を示している。それらは、「1 学校経営の充実 2 研究活動の充実 3 持続可能な社会を担う児童に「生きる力」を育む教育課程の編成・実施・評価・改善 4 教職員の資質能力の向上 5 教職員の定数や処遇の改善、働き方改革の推進」である。私たちは、組織の総力をあげて課題解決に努めるとともに、積極的に政策提言を進め、もって県民・国民の信頼に応える必要がある。そのために、校長は自らの使命を自覚し、権限と責任をもとにリーダーシップを発揮しながら、未来社会に夢と希望をもち、たくましく生きる児童の育成を志向して、活力ある学校づくりに努めなければならない。

全国連合小学校長会では、Withコロナ、Postコロナの時代の学校の在り方を想定し、新型コロナウイルス感染症への対応について、その課題と解決策を調査している。本委員会でも、それに準じて調査内容を変更し、今日的な学校教育の課題、学校経営上の諸問題など社会の変化に即応した学校の取組について調査研究し、対策に資することとする。

## ■調査研究内容

- 1 全国連合小学校長会令和元年度研究紀要より項目を抜粋して調査研究を行う。令和2年度福井県のデータと、令和元年度福井県のデータならびに全国連合小学校長会「研究紀要」のデータを比較した調査研究を行う。
- 2 会員からの要望による調査項目について、追加して調査研究を行う。
- 3 福井県全体の調査研究をもとに、各郡市の課題や諸問題について調査研究を行う。
- 4 特に今年度は、令和2年度全国連合小学校長会の調査の中から、新型コロナウイルス感染予防対策に関連した項目を一部追加して、福井県における小学校長会の記録とする。

## ■調査研究テーマ

「新しい時代に必要な資質能力を育成するための教育課程の編成と校長の役割Ⅱ」

## ■調査項目

- 1 県民の信託に応える小学校教育の在り方や学校評価の在り方に関する課題
- 2 教員の資質能力の向上と子どもと向き合う環境づくりに関する課題
- 3 少人数教育の推進、外国語科・外国語活動や特別の教科道徳への対応等、新たな教育改革・教育施策に関する諸問題
- 4 教育課程の編成や学習評価の改善に関する課題
- 5 校長の職能に関する課題
- 6 特別支援教育の推進に関する課題
- 7 児童の問題行動等に対する生徒指導推進上の課題
- 8 新型コロナウイルス感染など非常事態に対応するための校長の役割
- 9 今日的な課題に即応した学校づくりに関する課題

## ■調査対象・方法

- 1 調査対象 福井県全小学校 187校〔国立1校・市町立186校〕
- 2 調査期間 令和2年8月17日～9月4日
- 3 調査方法 質問紙による回答〔各設問の選択数は、全国連合小学校長会調査と同数〕